



生徒指導と  
特別活動・修学旅行

50

修学旅行を中心とした特別活動に関する指導は、先月号の四十九回で二点の目的を達成しました。新年度からいわゆるQ&A方式で、修学旅行の時事問題等について、先生からのご教授をお願いいたします。今後も引き続き愛読ください。

Q 本協会が先に実施した「中学校修学旅行の動向調査」のまとめから指摘されましたが、最近の修学旅行は内容が多様化し、スキー教室、平和学習等、様々な体験学習を取り入れられ、多彩を極めています。

A そのため、改めて修学旅行の目的を再確認し、この目的に適合する修学旅行の実施が強く望られます。

そこで、ここに修学旅行の目的について、明確にご教授ください。

A たとえば、学校が作成し

て教育委員会に提出する修学旅行の実施計画書の「目的」についてみても、その内容は様々なレベルで、また、それが混然と示されているようですが、それらの実態もふまえながら、あらためて、修学旅行の意義や目的を考えみたい。

1、「特別活動」の目標からみた修学旅行の目的

中学校の特別活動の目標は次のとおりであるが、その内容は、①望ましい集団活動の育成(「望ましい」の要件は、少なからず民主的な集団、

が、心身の調和のとれた発達

を図り、個性を伸長すること

もに、集団の一員としての自

覚を深め、協力してよりよ

い生活を築こうとする自主的、

実践的な態度を育てる。」

最近の「学校嫌い」や登校拒否の急増、更にアバシー(無

気力・無関心等)の一般化の

傾向からも特別活動の目標

として、心身の調和のとれた発達を図り、個性を伸長することもに、集団の一員としての自觉を深め、協力をよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。」

この「学校嫌い」や登校拒否の急増、更にアバシー(無

気力・無関心等)の一般化の

傾向からも特別活動の目標

としておくことが大切である。

「中学校指導書 特別活動編」には、「旅行の行事のねらいとして、次のように示

れているが、その「内容(事

項)」段階としては、学習活動

を通じてどのようなねらいを

達成できるかを、主に学習の

獲得・達成内容が「ねらい」

としてまとめられている。

別活動の目標の全体あるいは一部であることがます大切となる。

修学旅行の目的も常に特別活動の目標を通して達成されることがあります。

2、修学旅行固有の目的

特別活動全体の目標を通して、修学旅行の各内

容について明確にはく

るのも考えることができる。

(ア) 平素と異なる生活環境の

中で、教師と生徒お

ける達成内容をまとめてい

ることができる。

3、今後の中学校教育の課題

からみた目的

中教審、臨教審の審議結果

をも受け、昨年十二月に出

された教育課程審議会答申の

内容は、現在の修学旅行の実

施目標についても十分に配慮

し、とり上げなければならない

こと。

(ウ) 楽しく豊かな集団行動を

通して、健康・安全、集団

のきまり、公衆道德などに

ついて望ましい体験を得さ

せることができる。

4、まとめ

以上、三つのレベルで修学

旅行の目的設定のための基礎

的資料となる事項をまとめて

みたが、各学校では、これら

の上に、地域や学校の実態や

生徒・保護者の要望や期待を

重ね、統合的な観点から修学

旅行の目標を作成することが

大切であると考えられる。

答申では、「教育課程の改

善のねらい」として、「(1)豊か

な心をもち、たゞましく生き

る人間の育成を図ること

(イ) わが国の文化・経済・産

業・政治などの重要地を直

接見したり、大自然の美

しさに接したりすることに

よって、各教科その他にお

ける学習を拡充することが

大切であると考えられる。

以上、三つのレベルで修学

旅行の目的設定のための基礎

的資料となる事項をまとめて

みたが、各学校では、これら

の上に、地域や学校の実態や

生徒・保護者の要望や期待を

重ね、統合的な観点から修学

旅行の目標を作成することが

大切であると考えられる。

答申では、「教育課程の改

善のねらい」として、「(1)豊か

な心をもち、たゞましく生き

る人間の育成を図ること

(イ) わが国の文化・経済・産

業・政治などの重要地を直

接見したり、大自然の美

しさに接したりすることに

よって、各教科その他にお

ける学習を拡充することが

大切であると考えられる。

以上、三つのレベルで修学

旅行の目的設定のための基礎

的資料となる事項をまとめて

みたが、各学校では、これら

の上に、地域や学校の実態や

生徒・保護者の要望や期待を

重ね、統合的な観点から修学

旅行の目標を作成することが

大切であると考えられる。

答申では、「教育課程の改

善のねらい」として、「(1)豊か

な心をもち、たゞましく生き

る人間の育成を図ること

(イ) わが国の文化・経済・産

業・政治などの重要地を直

接見したり、大自然の美

しさに接したりすることに

よって、各教科その他にお

ける学習を拡充することが

大切であると考えられる。

以上、三つのレベルで修学

旅行の目的設定のための基礎

的資料となる事項をまとめて

みたが、各学校では、これら

の上に、地域や学校の実態や

生徒・保護者の要望や期待を

重ね、統合的な観点から修学

旅行の目標を作成することが

大切であると考えられる。

答申では、「教育課程の改

善のねらい」として、「(1)豊か

な心をもち、たゞましく生き

る人間の育成を図ること

(イ) わが国の文化・経済・産

業・政治などの重要地を直

接見したり、大自然の美

しさに接したりすることに

よって、各教科その他にお

ける学習を拡充することが

大切であると考えられる。

以上、三つのレベルで修学

旅行の目的設定のための基礎

的資料となる事項をまとめて

みたが、各学校では、これら

の上に、地域や学校の実態や

生徒・保護者の要望や期待を

重ね、統合的な観点から修学

旅行の目標を作成することが

大切であると考えられる。

答申では、「教育課程の改

善のねらい」として、「(1)豊か

な心をもち、たゞましく生き

る人間の育成を図ること

(イ) わが国の文化・経済・産

業・政治などの重要地を直

接見したり、大自然の美

しさに接したりすることに

よって、各教科その他にお

ける学習を拡充することが

大切であると考えられる。

以上、三つのレベルで修学

旅行の目的設定のための基礎

的資料となる事項をまとめて

みたが、各学校では、これら

の上に、地域や学校の実態や

生徒・保護者の要望や期待を

重ね、統合的な観点から修学

旅行の目標を作成することが

大切であると考えられる。

答申では、「教育課程の改

善のねらい」として、「(1)豊か